美術科

○美術科の学習のねらい

中学校の美術では、絵を描いたり、ものを制作することを通して創造性や表現力を高め、優れた美術作品や仲間同士の作品を鑑賞することを通して、芸術文化への関心を高め豊かな心を育てます。

絵は苦手だなと思っている人も美術の基本的な絵の描き方やいろいろな画材に触れ、楽しい技法を学びながら作品を創り出す喜びや楽しさを味わってください。

美術の授業では、幅広い美術的な学習活動を通して、感性を豊かにし、豊かな情操を養うことをめざしています。

○主な学習内容

学習内容は、大きく分けて次のようなまとまりからなります。

A・表現の活動

絵や彫刻などの表現活動

【題材例】

１年	遠近法を学ぼう	遠近法を使い風景画を描こう	
２年	自画像を描こう	主題を生かす風景画を描こう	
３年	墨で絵を描こう	修学旅行記を作ろう	思い出に残る風景画を描こう

デザインや工芸の表現活動

【題材例】

１年	野菜からのデザインを考えよう　レタリングを覚えよう　オルゴール小箱を作ろう
２年	世界でひとつの手作り時計
３年	卒業記念品を作ろう（サンドブラストまたは木彫額）

B・鑑賞の活動

鑑賞の活動

【題材例】

１年	色は科学	ダ・ヴィンチの遠近法	美術館へ行こう
２年	芸術家の自画像	日本美術と世界の美術	美術館へ行こう
３年	墨の芸術　日本の美術文化（建物・仏像・障壁画）		美術館へ行こう

○学期末テストについて

今年も学期末テストを行いますが、テストは授業内容を理解しているか、また授業により技術面が向上したかを確認するために実施します。そのため、主に記述式の問題は評価を点数で表示し（５０点満点）実技問題は３段階評価（A・B・C）で表す場合があります。

○ミュージアムレポートについて

夏休みを利用して、美術館や美術展の鑑賞記録（ミュージアムレポート）を実施します。

関心・意欲や鑑賞に加点します。

○学習の仕方

美術科の授業の約束

1　時間を守ろう

○授業の開始時間…チャイムと同時に授業を開始します。余裕をもって教室移動をしましょう。
○決められた提出日を守る。（事前に完成予定の日を決めて制作します。）

2授業を大切にする

○授業時間内に計画的に作業を進める。（出来るだけ宿題にしないよう努力する。）
○制作の方法を説明するときは集中する。制作中もできるだけ私語を慎む。
○自分の持っている力を 100 %発揮し、最後まで自分の作品に責任を持つように努力する。
○自分の作品を大事にし、友だちの作品も認め合う。

3忘れ物をしない

○毎時間準備するもの　　教科書・資料集・スケッチブック・鉛筆（HB・B）
○制作によって準備するもの　　デザインセット・水彩絵の具・のり・はさみ、彫刻刀等
＊スケッチブックと資料集は三年間使います。１年生用の教科書は１年間、２・３年生用は２年間使います。持ち物は自己管理し、置き忘れや紛失に気をつけましょう。持ち物には記名を忘れずに。

○評価について

各学期ごと、４つの観点から学習状況を評価します。それぞれの題材にある目標がどれだけ達成できたか、３つの段階で、【A／特に優れている　　B／おおむね満足する　　C／努力を要する】によって行います。学期末に１年間の評定がでます。

◇美術への関心・意欲・態度
・主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい、美術を愛好していこうとする。
主として、授業態度、作品提出の状況・内容、忘れ物、作品への思い等から判断します。

◇発想や構想の能力
・感性や創造性を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、良さや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。
主として、自分の力で発想したものが具体的に且つ効果的に表現されているか、また作品に生かされているか等から判断します。

◇創造的な技能
・表現の技能を身に付け、造形活動や感性などを働かせ、自分の表現活動を創意工夫して創造的に表す。
主として、身につけた技能を発揮し、表現力の高い作品を制作しているか、また創意工夫し期日を守り完成させているか等から判断します。

◇鑑賞の能力
・美術作品や文化遺産等に親しみ、感性や創造性を働かせて良さや美しさ等を、感じ取り味わい、作者や画家の作風や心情まで理解したりする。
主として、自分の意見を持ち良さや美しさを自分の言葉で表現できる等で判断します。

評価　　４観点（関心意欲態度・発想・技能・鑑賞）で　Aは3点　　Bは2点　　Cは1点
5は１２点　4は１１点・１０点　3は9点・8点・7点　2は6点・5点　1は4点
例・AAAA・・・・5　　AAAB　BBAA・・・・4　　ABBB　BBBB　BCBB・・・・3
ACCC　BBCC　BCCC・・・・・2　　CCCC・・・・・1